

# 旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い



焼損した旧モーガン邸  
玄関部分は残った

## 旧モーガン邸について

旧モーガン邸（藤沢市）は、横浜山手等で多くの作品を残した横浜ゆかりの建築家 J.H. モーガンの自邸です。緑に包まれた 2,000 坪の敷地に優美な西洋館が佇んでいましたが、2006 年、2007 年の 2 度の不審火により焼損しました。

所有者の公益財団法人日本ナショナルトラスト（以下 JNT）は、文化財的価値は無いと判断し、再建を断念。これを機に公益社団法人横浜歴史資産調査会（以下ヨコハマヘリテイジ）は、JNT が所有する焼損した建物・土地等を引き継ぎ、NPO 旧モーガン邸を守る会、藤沢市と力を合わせて新たに再建に向けた活動を開始しました。

ヨコハマヘリテイジでは、地域の文化交流拠点（ヘリテイジセンター）として皆さんが集う場所として再建、整備して参ります。

つきましては、再建のためのご寄付を広く募っております。皆様のご支援を心よりお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

個人 5,000 円（一口） 団体・企業等 100,000 円（一口）

ご寄付は一口から何口でもありがたくお受けいたします。

ご寄付頂いた皆様のお名前は、再建した建物室内に掲示させていただきます。

\*免税措置＝当公益社団への寄付は、税法上の優遇措置が適用され、所得税（個人の場合）、法人税（法人の場合）の控除が受けられます。詳しくは事務局からご案内します。



焼け跡内部



ありし日の旧モーガン邸

振込先：ゆうちょ銀行

口座番号：00270-4-124271

加入者名：公益社団法人 横浜歴史資産調査会

通信欄に「旧モーガン邸」と明記してください

# 公益社団法人 横浜歴史資産調査会の事業活動



野毛都橋商店街ビル（当公益社団第1号保護資産）



京急金沢八景駅・瀬戸変電所

◎公益社団法人横浜歴史資産調査会は横浜市内だけではなく、全国各地の歴史的資産等の調査、保護、活用を目的とした内閣府認定の公益社団法人です。その原点は、昭和63年（1988）横浜市都市整備局内に設けられた横浜市歴史的資産調査会でした。その後、歴史を生かしたまちづくり活動をより円滑に行うため、平成21年（2009）に独立し、一般社団法人横浜歴史資産調査会（神奈川県認定）となりました。平成25年には、内閣府認定の公益社団法人横浜歴史資産調査会となり令和3年度（2021）まで33年の歴史を刻んできました。通称は、ヨコハマヘリテイジです。

◎現在、横浜市内をはじめ横浜と歴史や文化的つながりのある市町村の歴史的建造物等の調査を行なっております。内閣府認定の公益社団法人になったことによりいわゆる免税団体となり、歴史的建造物等の取得、保護、活用、管理にも力を注いでおります。

## ① 主な調査事業

近代化遺産である旧湘南電気鉄道瀬戸変電所（現京急電鉄・横浜市金沢区）、北大路魯山人と関係の深い「細野燕台茶室」（鎌倉市）、横浜と絹文化で結ばれた更級の商都稲荷山（国重要伝統的建造物群保存地区・長野県千曲市）にある「旧倉石忠雄家住宅」ほかシルクロードやレイルロードで横浜と関係のある市町村と連携し調査事業等を行なっております。

## ② 主な保護事業

歴史的建造物を守るために保護資産の取得を、皆さんと力を合わせて行なっています。

・野毛都橋商店街ビル（横浜市登録歴史的建造物）

＊大岡川沿いにある昭和39年（1964）建造の横浜らしい都市景観の飲食店ビル。

・旧モーガン邸（藤沢市）

＊横浜ゆかりの建築家 J.H. モーガン氏の自邸と車庫、温室、ポンプ小屋等を NPO 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市と連携して保護・活用を推進。

## ◎入会についてのご案内

ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員を募集しています。歴史的資産の保護・活用を推進するためには、皆さまのご理解とご支援が必要です。ぜひ、ご参加ください。

年会費 個人 3,000円 団体 30,000円 賛助 50,000円（一口）

＊見学会、講演会、シンポジウム、コンサートのご案内（参加費割引）、会報誌「ヘリテイジスタイル」、「横濱新聞」、「ヨコハマヘリテイジブックレット」等、関係資料等をお届けします。

231-0012

横浜市中区相生町3丁目61番地 泰生ビル405

Phone/Fax 045-651-1730

<http://www.yokohama-heritage.or.jp>

Eメール [yh-info@yokohama-heritage.or.jp](mailto:yh-info@yokohama-heritage.or.jp)